

# 科目区分：外国語科目（中国語）

授業科目名	中国語					学期	曜日	校時
英語名	Chinese							
担当 教官名	葛城 明子	単位数	1 単位	必修 選択	必修	前期	木曜日 金曜日 金曜日	2 校 時 2 校 時 3 校 時
授 業 の ね ら い ・ 内 容 ・ 方 法								
<p>私たちが一般に「中国語」と呼んでいるのは、中国で全国的に通用する共通語のことである。中国は国土が広く、日本の約26倍もあり、方言が数多くある（一般に七大方言という）。各方言間は発音が大きく異なり、互に通じない。そこで全国共通の言語が必要なのである。共通語は“普通话”といい、北方方言を基盤とし、北京語の発音を標準音としている。</p> <p>「中国語」ではこれまで学んだ発音や文法を復習しながら、基本文型の例文に多くふれることで、初級中国語の習得をめざす。授業の進め方は、各課ともまず新しい学習内容を説明した後、「練習」を宿題とし、次の時間に答え合わせや補足説明をしていく。履修生は授業時は大きい声で発音し、積極的に取り組むこと。また各自付録のCDを使って、同じ文を繰り返し読む練習を通して、中国語の自然なリズムを身につけてほしい。</p>								
テ キ ス ト 、 教 材 等								
<p>テキスト：若林建志・有澤晶子・王 亜新著『中国語基礎文法15課』（白帝社） 辞書：『プログレッシブ中国語辞典』（小学館）</p>								
対象学生	成績評価の方法					教官研究室		
木 - : 2 E - 金 - : 2 L 4 金 - : 2 E 四	平常の学習状況（出席状況、発音、宿題など）と定期試験の成績により、総合的に評価する。							
授 業 計 画								
第1回：第3課（“是”構文 名詞による連体修飾 連詞“和” 副詞“都・也” 人称代名詞）								
第2回：第3課（本文 練習 会話）								
第3回：第4課（形容詞述語文 主述述語文 程度副詞 “不～（也）不～”）								
第4回：第4課（本文 練習 会話）								
第5回：第5課（名詞述語文 数字の言い方 選択疑問文 金額の言い方）								
第6回：第5課（本文 練習 会話）								
第7回：時間に関する主な表現								
第8回：第6課（“有”構文 “在”構文 “～的”の使い方 指示代名詞 よく使う量詞）								
第9回：第6課（本文 練習 会話）								
第10回：第7課（動詞述語文 介詞“在” 副詞“刚” その他の副詞）								
第11回：第7課（本文 練習）								
第12回：《北京的四季》								
第13回：第8課（助詞“了” 経験を表す“过” 連動文 介詞“跟・和” 動量詞）								
第14回：第8課（本文 練習） * 質問受付時間：木曜日 12:00 ~ 13:00 非常勤講師控室								

